

教育目標

児童生徒が、病気もしくは障害による学習上または生活上の困難を改善・快復し、自立を図ることができるよう、医療機関・家庭や前籍校・地域等との適切な連携を図りながら、児童生徒一人ひとりの病状や障害の状態、特性等を十分考慮した教育の充実に努め、たくましく生きぬく力と豊かな心で生き生きと活動できる子どもを育成する。

また、学習指導要領に則り編成した教育課程により、児童生徒の学びの連続性を確保するとともに、一人ひとりの教育的ニーズを踏まえ、個別最適な学びの充実を図る。

◇心身ともに健やかな子

- ・自ら病気や障害に起因する様々な困難を改善・快復するために、必要な知識・技能・態度および習慣を育成する。

◇自ら学ぶ子

- ・自主的な学習態度を養い、基礎学力の充実と向上を目指す。

◇思いやりのある子

- ・互いに助け合い、協力する心と豊かな人間性の育成に努める。

学校経営の重点目標

- 1 保護者や関係機関との連携に基づく、教職員の専門性向上と、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた教育活動の充実
- 2 安全・安心な教育環境の整備
- 3 センターの機能の啓発と充実